

〈統計ピックアップ〉

『119番の日』



はいた〜い、11月になりました。今年も早いもので残すところあと2ヶ月です。

ところで皆さん、11月9日といえば「119番の日」ですね。そこで、今月号では「沖縄県の救急」に関する統計について調べてみることにしましたので、しばしお付き合いください。

では始めに、過去10年間の救急出動件数及び搬送人員の推移からみてみましょう。(図1、表1)

平成27年中の出動件数は71,435件で、前年に比べ39件減少しており、搬送人員は65,393人で、前年に比べ85人増加しています。

10年前の平成18年と比較すると、出動件数は17,156件増え31.6%の増、搬送人員も14,382人増え28.2%の増となっています。

図1：救急出動件数及び搬送人員の推移(沖縄県)

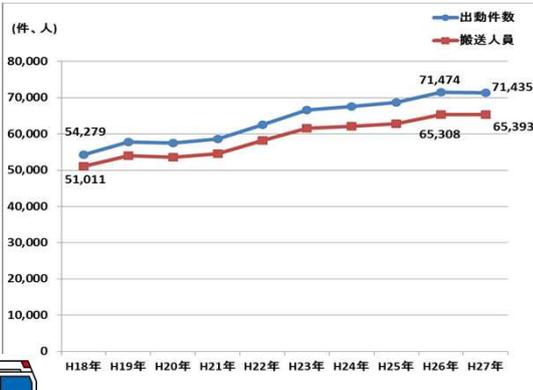


表1：救急出動件数及び搬送人員の推移(沖縄県) (件・人)

年別	出動件数	対前年増減数	搬送人員	対前年増減数
H18年	54,279	436	51,011	290
H19年	57,854	3,575	53,986	2,975
H20年	57,578	-276	53,585	-401
H21年	58,619	1,041	54,535	950
H22年	62,540	3,921	58,183	3,648
H23年	66,670	4,130	61,536	3,353
H24年	67,552	882	62,119	583
H25年	68,683	1,131	62,852	733
H26年	71,474	2,791	65,308	2,456
H27年	71,435	-39	65,393	85

次に、表2、「救急事故等種別ごとの救急出動件数及び搬送人員の状況」をみると、平成27年の出動件数は急病が46,015件(64.42%)で最も多く、次いで一般負傷10,230件(14.32%)、その他7,102件(9.94%)、交通事故5,349件(7.49%)となっており、搬送人員でも急病が42,948人(65.68%)で最も多く、次いで一般負傷9,346人(14.29%)、その他5,810人(8.88%)、交通事故5,142人(7.86%)となっています。平成24年から26年をみても、出動件数、搬送人員どちらも急病が最も多いことがわかります。

表2：救急事故等種別ごとの救急出動件数及び搬送人員の状況(沖縄県) (件・人)

	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年			
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	割合	搬送人員	割合
急病	43,286	40,493	43,788	40,895	45,712	42,582	46,015	64.42%	42,948	65.68%
一般負傷	8,868	8,157	9,454	8,668	10,086	9,231	10,230	14.32%	9,346	14.29%
その他	6,929	5,780	7,158	5,824	7,287	5,894	7,102	9.94%	5,810	8.88%
交通事故	5,778	5,631	5,546	5,377	5,632	5,401	5,349	7.49%	5,142	7.86%
自損行為	876	635	918	657	863	620	809	1.13%	566	0.87%
運動競技	441	440	477	470	559	551	555	0.78%	547	0.84%
加害	547	433	536	437	499	420	524	0.73%	410	0.63%
労働災害	364	363	389	383	448	437	473	0.66%	451	0.69%
火災	251	58	260	58	221	56	219	0.31%	65	0.10%
水難	131	59	152	77	135	87	139	0.19%	88	0.13%
自然災害	81	70	5	6	32	29	20	0.03%	20	0.03%
計	67,552	62,119	68,683	62,852	71,474	65,308	71,435	100%	65,393	100%

注：平成27年の出動件数の多い順に並べている。

次に、図2、「1日当たりの救急出動件数及び搬送人員」をみると、平成27年の出動件数は1日平均約195件で、搬送人員は約179人となっています。救急隊員が約7.4分に1回の割合で出動していることがわかります。平成24年から26年の状況もみると、24年は7.8分に1回、25年は7.7分に1回、26年は27年と同じで7.4分に1回の割合で出動しています。

図2：1日当たりの救急出動件数及び搬送人員(沖縄県)

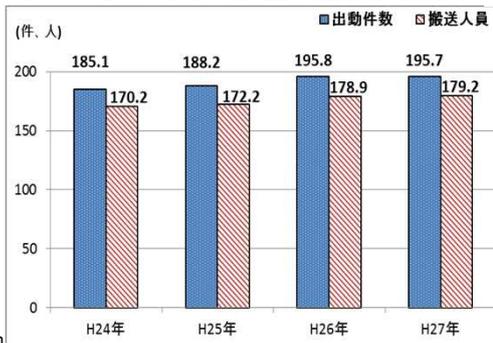


表3：平成27年 都道府県別・救急出動件数(千人当り)

順位	都 市 名	救急出動件数(千人当り)
全 国		47.6
1	大阪府	62.2
2	東京都	56.6
3	高知県	54.3
4	和歌山県	52.2
5	京都府	51.7
...	...	...
7	沖縄県	49.8
...	...	...
44	富山県	37.8
45	青森県	36.1
46	石川県	35.7
47	福井県	35.3

最後に、表3、「平成27年 都道府県別・救急出動件数(千人当たり)」をみてみましょう。出動件数が最も多い県は大阪府の62.2件、次いで東京都56.6件、高知県54.3件となっており、最も少ない県が福井県の35.3件です。沖縄県は7位の49.8件となっています。

自宅が火事になったり、家族がけがや急病になったりすると気が動転し、冷静に対応することは難しいかもしれませんが、落ち着いて行動することで自分の命や周りの命を救うことができます。消防庁・防災情報室が119番通報で大切な5つのポイントをまとめているので、皆さんもこの機会に確認しておきましょう。

- 1 火災・救急の別・・・「火事」または「救急」とはっきり言うこと。
- 2 場所・・・住所は正しく、詳しく言うこと。
- 3 火災・事故等の状況・・・何が(誰が)どうしたかを正確にわかりやすく言うこと。
- 4 通報者の氏名・連絡先・・・通報者を明らかにすること。
- 5 携帯電話による通報の場合・・・通報後しばらくの間は電源を切らずに、現場近くの安全な場所にいること。

